

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 10号)

2026年1月29日発行

兵庫のり研究所

海域全般にリゾソレニアやギナルディア等、多種の珪藻類が確認され、特に別府漁場以西で多い状況です。窒素は、大阪湾漁場も栄養塩がやや低下していることから、海域東部や鋼管漁場で1~2 μg at/L台、陸水の影響が見られる海域地先で6~8 μg at/L台、海域西部沖筋で1 μg at/L前後の値となっています。

(水温) 漁場内平均9.1°C (平年比0.8°C、昨年比0.3°Cともに低い)。(塩分) 平均32.82psu。

(珪藻、栄養塩ほか)

別府漁場以西ではリゾソレニア・ギナルディアに加え、キートセロスも多く確認された。また、ユーカンピアは海域西部でわずかに確認された。

海域地先 (④⑤⑥) では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.9	9.1	9.9	9.4
窒素	1.5	2.7	3.9	3.7
リン	0.34	0.37	0.43	0.52

(1/21)

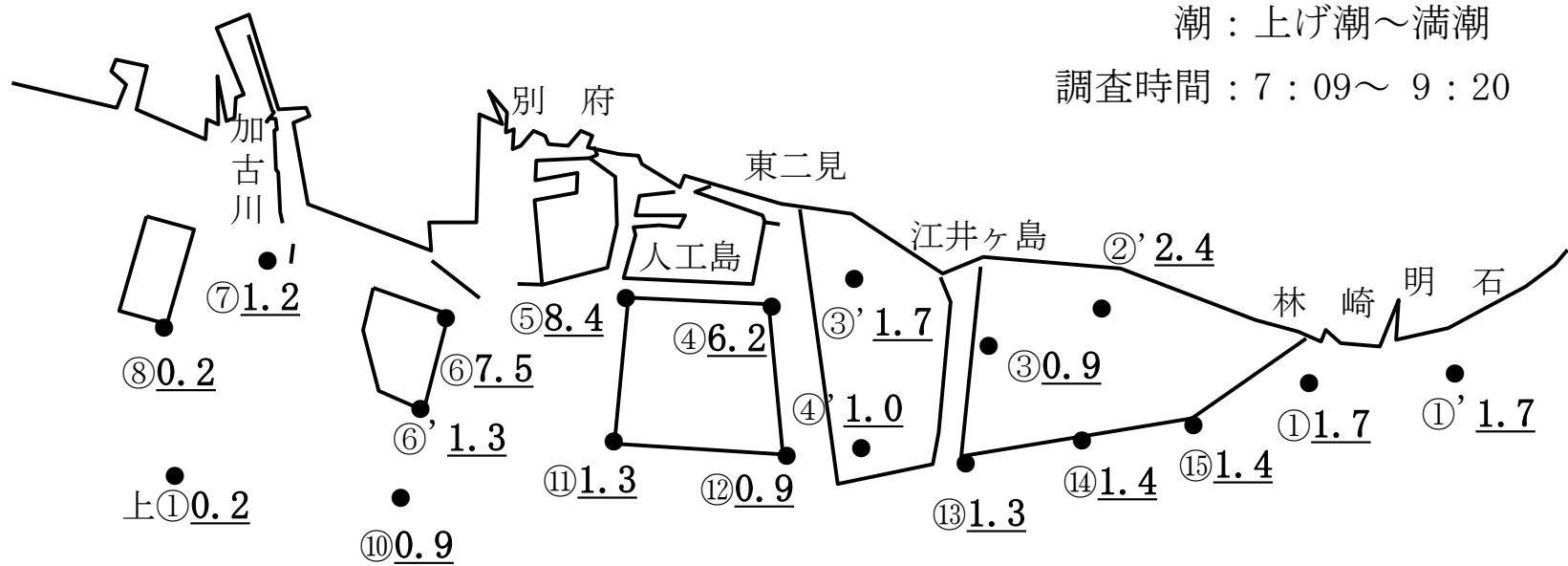
(1/31)

2026年1月29日調査

栄養塩(窒素)図

潮: 上げ潮～満潮

調査時間: 7:09 ~ 9:20



水温図

